

学校法人滋慶文化学園 福岡ECO動物海洋専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【令和元年5月24日実施】

平成30年度自己点検自己評価(平成30年4月1日～平成31年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価(平均)	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1			適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1	
1 教育理念・目的・育人人材像	1-1-1 理念・目的・育人人材像は、定められているか	4	<p>【1-1-1】 滋慶学園グループ・福岡ECO動物海洋専門学校としての理念・目的・育人人材像はしっかりと定められている。</p> <p>【1-1-2】 開校以来ペット・海洋・動物業界から求められる人材を育成する産学連携教育を実施。技術やスキルなどの「実学教育」だけでなく、あいさつや対人スキル、社会人・プロの職業人としての身構え・気構え・心構えを身に付ける「人間教育」、国際的な感性を養う「国際教育」を行い業界の求める人材のニーズに適合させている。</p> <p>【1-1-3】 産学連携教育の中で企業プロジェクト・企業課題を通して技術・スキルだけではなく接客や業界の求める社会人像などを知ることができる。</p> <p>【1-1-4】 今後は、動物に関する知識・技術だけではなく、時代のニーズに合ったIT等のカリキュラムを取り入れ、WEBを駆使して集客や販売などができる人材育成や、音や光や映像とのコラボレーションでお客様を魅了できるエンターテインメントのスペシャリストやマネジメント人材を育成していき、動物業界の更なる発展に貢献していきたいと考えている。</p>	<p>■滋慶学園グループのミッション 「職業人教育を通じて社会に貢献する」</p> <p>■滋慶学園グループのビジョン 3つの建学の理念を実践し4つの信頼を得ること 3つの建学の理念 「実学教育」 「人間教育」 「国際教育」 4つの信頼 「学生・保護者からの信頼」 「高等学校からの信頼」 「産業界からの信頼」 「地域からの信頼」</p> <p>■学校のコンセプトと育人人材 動物・自然とふれあい、人に喜びと感動を与える人材を育成する</p> <p>■産学連携教育 業界が求める人材を業界と共に育成する産学連携教育。カリキュラムづくりから演習や実習までを業界のプロフェッショナルとともに。企業プロジェクト・企業課題では企業や施設から要請をいただき、業界と共にイベント運営や調査など様々な課題に取り組み、まさしく即戦力育成につながっている。</p>	3.9	<p>・素晴らしいと思う</p> <p>・理念・目的が明確になっており評価できる</p> <p>・業界のニーズに合わせて、社会情勢を鑑みた人材育成を目指しており評価できる</p> <p>・学校内ではどの子も挨拶をしてくれ気持ちが良い。ただ、緊張するとその良さが出せていない事もあるのが勿体ない</p> <p>・「実学教育」、「人間教育」、「国際教育」のどれもがとても大切なことだと思う。職業倫理観についてもしっかりと育てて頂きたいと思う</p> <p>・教育理念、目的等が業界のニーズ等を踏まえながら考えられていると思う。今後の社会のニーズを踏まえながら進化・改善を進めてほしい</p> <p>・各専攻別に育人人材像を具体化した方がよい</p> <p>・人材育成では知識・技能の育成と共に、対人スキルとしてのコミュニケーションの育成が求められる。カリキュラムに「人づくり＝コミュニケーション力」のプログラムを導入しても良いのではないかと</p>
	1-1-2 育人人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか					
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか					
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか					
2 学校運営	2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4	<p>【2-2-1】 すべての運営方針は滋慶学園グループの理念に沿って定めている。</p> <p>【2-3-1】 理念等を達成するために5年後を見据えた毎年の事業計画を定め、この計画に沿って教育・就職・広報・人事・収支などの運営を行っている。</p> <p>【2-4-1】 本校の運営方針や収支予算・決算などは滋慶文化学園の理事会において承認を受け適切に運営を行っている。</p> <p>【2-4-2】 事業計画の中で組織の人員構成・組織図・職務分掌を作り、役職における職責内容や職務権限を明確にしている。また滋慶学園グループの中期・短期の事業計画に沿って採用を行い、定期的にJESC(滋慶教育科学研究所)によるFD研修やグループ・学校主催の様々な人材育成のための研修を行っている。</p> <p>【2-5-1】 人事・給与に関しては法人総務部と専門会社滋慶サービスで制度を確立しており、人事データバンクシステムや勤怠管理システムなどを活用しながら働き方改革にも取り組んでいる。</p> <p>【2-6-1】 意思決定システムはプロセスに応じた会議・決裁者・最終決裁者を設定している。様々な目的により会議や委員会などを定期的実施し滋慶学園グループの方針の確認・共有や企画立案、状況報告、連絡相談の場を設けている。</p> <p>【2-7-1】 情報のシステム化については、広報・教務では業務システムや就職システム、総務・経理では勤怠管理システムや予算管理システムなどを導入し業務の効率化に努めている。</p>	<p>滋慶学園グループではグループ全体で教育の質的向上を目指すため、独自の研究機関としてJESC(滋慶教育科学研究所)を設置。JESCでは教育力・運営力向上を目的とし、教職員・講師を対象に研修を実施している。「教育の質は、実践する教職員の成長により向上する。」という考えのもと、新入職者からマネジメント層に至るまで、それぞれの職務に必要なマインドの養成とスキルアップを目指している。</p> <p>&lt;JESC主催の主な研修内容例&gt; ・新入職研修(広報研修・FDマイクロレベル研修) ・FDマイクロレベルフォローアップ研修・FDミドルレベル研修 ・FDマクロレベル研修・FDセッションコーチ研修 ・進路変更アドバイザー研修・キャリアサポートアンケート勉強会 ・マネジメント研修・広報力大会・滋慶教育科学学会 ・キャリア教育アドバンス研修 など</p> <p>&lt;その他研修例&gt; ・ホスピタリティコーディネーター養成講座・人権同和問題企業主研修会・留学生担当職員研修会・認定CPOアカデミック資格講座・LGBT研修 等</p>	3.8	<p>・良く考えられている</p> <p>・組織としてしっかりとした運営がされていると思う</p> <p>・運営方針は滋慶学園グループの理念に沿って定められ、組織に基づいて運営されているので安心感がある</p> <p>・自己評価されている内容は評価するが、それがどのような効果をもたらしているのかが解りにくい。現状、計画だけを記載されているようにも感じる</p> <p>・トリミングの授業に関して、同じ講師に1～2年マスターまで教わるのか？いろんな講師に教わることで気づくこともあると思う</p> <p>・職員が自分の職場を信頼することは、実はあらゆる取り組みの基本条件だと思う。その意味から働き方改革の推進はとても大切だと思う</p>
	2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか					
	2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか					
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか					
	2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか					
	2-6-1 意思決定システムを整備しているか					
	2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか					

3 教育活動	3-8-1 教育活動	3	【3-8-1/3-8-2】 3つの建学の理念を踏まえ、4つの信頼を得ることで即戦力となる人材を育成し社会に貢献するというミッションのもと、ディプロマポリシー(卒業認定等の方針)・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシーを設定し学年毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしている。	【3つのポリシー】 3つの建学の理念と4つの信頼に基づき即戦力となる人材を育成し社会に貢献するというミッションのもとに、3つのポリシーを策定している。  ①ディプロマポリシー 技術・知識のみならず、ビジネスマインド、社会人としての身構え・気構え・心構え、国際的な感性をしっかりと身に付け、各専門分野や社会に貢献できる人材となる。  ②カリキュラムポリシー ディプロマポリシーを達成するために産学連携のもと3つのカリキュラム編成を成している。 「ファウンデーション・カリキュラム」 即戦力を身に付けた職業人として必要な基礎知識の習得を目指す 「スペシャライズ・カリキュラム」 より高度な専門知識・技術の習得と、社会に貢献できる職業人として要求される身構え・気構え・心構えや国際感覚の習得を目指す。 「ダブルメジャー・カリキュラム」 他専攻の科目を選択できるカリキュラムで、幅広い知識と技術を持った職業人を目指す。  ③アドミッションポリシー 将来の夢や目標・目的を持ち、好きな仕事を通して人に喜びや感動を与えたいという気持ちを持っている人を入学者として受け入れる。  【キャリア教育】 本校では、職業教育のアプローチとして、3つに時期を捉え、入学前のキャリア形成から、在学中のキャリア設計、卒業後のキャリア開発まで学生の育成・成長にフローで関わり、一人ひとりを大切に教育を行っている。  ①キャリア形成 入学前の時期に、オープンキャンパスやマイスクールを通して、基盤となる勤労観・職業観の形成と確立をする時期。  ②キャリア設計 在学中は、専門職業に就くプロセスの設計と能力の習得と、セルフマネジメント・チームマネジメント・プロジェクトマネジメントなどの人間力の修得する時期。  ③キャリア開発 卒業後は、卒業後教育等を通して、社会・職業人への移行と更なるキャリア開発をする時期。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・項目ごとに要件はしっかりと抑えられており評価できる</li> <li>・社会のニーズに応じてより多くのプログラムが考えられていると思う。学生がより深く学べるように業界との連携も素晴らしいと思う</li> <li>・授業評価や各種コンテスト等への参加結果を授業改善に結びつけるPDCAサイクルはとても大切だと思ふ</li> <li>・若者のコミュニケーション能力の低下を感じるの</li> <li>で、そのような視点の項目があってもいいのではない</li> <li>か(3-9-1に含まれるかもしれないが)</li> <li>・キャリア形成はよくできていると思う</li> <li>・キャリア設計については学校の考えが学生に同じ</li> <li>温度で伝わっているとは思いいくない</li> <li>・動物飼育専攻において、目標とする資格・免許を明確にする必要がある</li> <li>・学生アンケートの結果を公表し、その対策を共通理解し具現化していくことも必要ではないか</li> <li>・キャリア教育の具体的な取り組みはあるのか</li> <li>・一般論として、優秀なスタッフ確保は難しいことだ</li> <li>と思う。積極的に人材確保、教職員の資質向上に取り組みで頂きたい</li> </ul>
	3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか					
	3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか					
	3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか					
	3-9-3 キャリア教育を実施しているか					
	3-9-4 授業評価を実施しているか					
	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか					
	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか					
	3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか					
	3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか					
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか						
3-12-2 教員の資質向上への取り組みを行っているか						
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか						
3-12-1 資格・要件を備えた教員は確保している。						
【3-12-2/3-12-3】 教職員の資質向上の取り組みとして、JESC(滋慶教育科学研究所)主催のFD(ファカルティディベロップメント)研修やカウンセリング研修を行っている。学校長・副校長の監督のもと、教務部長を中心に学科長、主任及び各専攻一人以上の責任者を配置している。						
4 学習成果	4-13-1 就職率の向上が図られているか	4	【4-13-1】 開校以来、就職希望者全員就職を達成している。専門職就職率は本年度94%で前年より3ポイント増加している。在校生の就職の分野が広がり、幅広い求人情報の提供と、ひとり一人の希望や状況を把握し支援することを、課題として取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈主な就職サポート〉</li> <li>①進路カウンセリング</li> <li>②就職出陣式・就職セミナー</li> <li>③合同企業説明会</li> <li>④OB・OGセミナー</li> <li>⑤インターンシップ</li> <li>⑥就職保護者会</li> <li>⑦同窓会</li> <li>⑧卒業セミナー</li> </ul>	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が子の姿を見ても、資格取得や就職へ向かう姿等、何でも頑張っているのが成果が出ていると思う</li> <li>・就職率100%は本当に素晴らしいことだと思う。更に、難しいかもしれないが、卒業生の早期離職率0%にも手だてが取れるとさらに素晴らしいことではないか</li> <li>・就職率がアップしており、評価できる。ただ、企業が求める人材の要件は高いので、4-15-1の部分は具体的な評価を出すべきではないか</li> <li>・卒業生の良い評価が十分発信されていない</li> <li>・卒業式前後ギリギリに就職が決まることもあるので、せめて1~2月までには就職先は決まるようになると良いと思う</li> <li>・卒業生の社会的評価が日常の取り組みにどのように活かされているのか</li> <li>・同窓会の日程は、半年前からアナウンスがほしい</li> <li>・年代別の同窓会はできないか(卒業生からの意見)</li> </ul>
4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	【4-14-1】 資格・免許の取得率の向上のために、授業の他にも資格対策特別講座など実施している。この結果、各種動物関係の資格試験の合格率も年々向上している。					
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	【4-15-1】 定期的に行っている企業訪問や離職・在籍調査、同窓会、OB・OGセミナーなどを通して卒業生の社会的評価の把握に努めている。					

5 学生支援	<p>5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか</p> <p>5-17-1 退学率の低減が図られているか</p> <p>5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか</p> <p>5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか</p> <p>5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか</p> <p>5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか</p> <p>5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか</p> <p>5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか</p> <p>5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか</p> <p>5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか</p> <p>5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取組んでいるか</p> <p>5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか</p>	3	<p>【5-16-1】 就職専門部署のキャリアセンターを設置し、担任との強い連携をとりながら、就職の相談、斡旋、面接指導などの支援をしている。</p> <p>【5-17-1】 出席状況や授業の進捗を教員(非常勤講師)と共有すると共に、中途退学を防止するための会議を毎週開催している。この結果、退学者の減少に一定の歯止めはできているが、まだ有意な比率の低下とはなっていない。今後更に学生の意欲を引き出すあらゆる努力をしていく。</p> <p>【5-18-1/5-18-2】 学生相談窓口である滋慶トータルサポートセンターを設置し、専属のカウンセラーが学生の悩みや相談の対応をする体制を整えている。学内に留学生対応の担当スタッフを置き、ビザの更新や生活のサポートを行っている。また滋慶国際交流COMのバックアップも受けている。</p> <p>【5-19-1】 学生支援機構の奨学金の他、滋慶学園グループ独自の滋慶奨学金、学費分納や延納などの体制を整備している。</p> <p>【5-19-2】 慶生会クリニックと連携し、健康診断や歯科・内科の受診などを奨励し、学生の健康管理サポートは整備されている。</p> <p>【5-19-3】 ジケイスペース(株)が専用寮(スチューデントハイム、アソシエイト)を運営、はじめての一人暮らしをサポートしており、寮長、寮母との連携もとれている。</p> <p>【5-19-4】 運動部や文化部、動物系のクラブ活動があり、年間予算・顧問を設けて活動を支援している。</p> <p>【5-20-1】 新入生および卒業年次生の保護者を対象に保護者会を開催している。また、1年次末には就職保護者会を開催し、業界の現状から就職活動の支援方法について伝え、家庭との連携を深めている。</p> <p>【5-21-1】 卒業後の再就職支援を行っている。年に一度同窓会を開催し、卒業生の現状調査と卒後セミナーを行っている。</p> <p>【5-21-2】 同窓会やOB・OGセミナーを実施し、業界の現状を把握することに努め、業界ごとのニーズにあった再教育プログラムを提供。</p> <p>【5-21-3】 業界からのニーズに合わせリカレント教育制度の導入について準備段階。</p>	<p>滋慶学園グループでは、学生満足度向上のため、様々な支援体制を整備している。</p> <p>&lt;主な支援機関&gt; ① 滋慶トータルサポートセンター福岡 ② 医療法人慶生会 慶生会クリニック(内科・歯科) ③ 慶生鍼灸院・整骨院 ④ キャリアセンター ⑤ 滋慶学園専用寮(スチューデントハイム・アソシエイト) ⑥ 学生食堂(滋慶レストラン) ⑦ 事務局会計課 ⑧ 進路変更委員会 ⑨ 滋慶国際交流COM</p> <p>&lt;主な支援制度&gt; ① 進路変更制度 ② 長期履修制度 ③ 学費分割納入制度 ④ 留学生奨学金制度 ⑤ 滋慶奨学金 ⑥ 担任制度 ⑦ 卒業後教育制度 ⑧ 海外専門留学</p> <p>&lt;その他&gt; ① 各種クラブ活動 ② 駐輪場の整備 ③ free WiFi完備</p>	3.3	<p>・前向きに、積極的に取り組まれていると思う ・保護者の信頼を得るには「知ってもらうこと」が何より重要だと思う。なかなか情報が伝わらない事もあるかと思うので、メール配信等も有効かと考える ・多彩な支援体制を整えていることは評価できるが、それが本当に支援につながっているのかは不明 ・食事付き・家具付き・セキュリティ等により比較にはならないが、ある学生から学生寮(食事付)の家賃よりも個人で借りた方が安くつくと聞いた。県外からも学びに来れるよう魅力的な内容を検討されてもいいのではないかと思った ・もっと学びたい学生の為に、クラブ活動を新設してはどうか ・寮に入っている学生が寮内で生き物の飼育をできるようにできないか ・まだ我が子が卒業していないため解りづらいところがあるが、学校関係者評価委員会で卒業生のための講座等すすめていこうとする姿勢は評価できる</p>
6 教育環境	<p>6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか</p> <p>6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか</p> <p>6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか</p> <p>6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか</p>	3	<p>【6-22-1】 施設・設備は、業界の必要性に応じて整備しており、事業計画の中で毎年、改装・改修・教育機器備品購入なども計画的に実施している。長期修繕計画のもと、設備点検や補修なども行っている。</p> <p>【6-23-1】 学外実習、業界研修(インターンシップ)先とは綿密な連携をとり、十二分な実施体制を整えている。海外実学研修では、それぞれの専攻において大きな学習効果の得られる海外の教育機関と提携し、ワークショップ等を行っており、十分な教育体制を整備している。また、希望者には10週間の海外専門留学プログラムを設けている。</p> <p>【6-24-1】 防災計画を策定し、それに基づいて防火管理者を始めとして防災組織体制を構築している。また、年2回の避難誘導訓練を実施すると共に、ゲリラ豪雨や竜巻、地震など異常気象に備えて、学生の危機意識の確立を図って安全確保に努めている。ただし、天災は日頃からの備えが重要であり、全員での認識が重要な為、全学生及び教員(非常勤講師)合同での訓練が望ましい。今後更なる充実を図っていく。</p> <p>【6-24-2】 ガードマンが常駐し、館内警備にあたりと共に、安心安全な教育環境を学生に提供するために、福岡県警察や行政、消費生活センターなどの専門機関と連携をして、自転車安全講習、薬物乱用防止講習、悪徳商法被害防止講習、女性犯罪被害防止講習など様々な安全講習を実施している。</p>	<p>滋慶学園グループには、サポート企業・関連企業が多く存在し、グループ総力を挙げて教育環境の整備にあたっている。</p> <p>&lt;サポート企業・関連企業の一例&gt; ① ジケイ・スペース(株) ② DUCE ③ (株)プレーンスタッフコンサルタンツ ④ VISTA ARTS ⑤ 西部建設 ⑥ 滋慶出版 ⑦ 国際部</p> <p>&lt;その他&gt; ① ガードマンの配置による安全確保 ② 緊急時安否確認システムによる学生の安全確保の推進</p>	3.6	<p>・大変充実した教育環境で素晴らしいと思う ・ガードマン常駐で安心できる ・学ぶ環境としては充実していると思う ・教育環境は外部から見ると限り整備されているように見える ・非常に難しいと思うが、生体実習を可能な限り組み込んでほしい ・自然災害が増えている中、防災に対する備え、学生の安全確保等がどうなっているのか今後明らかにしてほしい ・防災について、講師は避難訓練に参加しておらず、有事の際慌てるのではないかと ・避難誘導訓練はどこに避難するかは行ってないが、実際に災害が起きた時にどんなところを避けた方が良いか、災害が起きた後どのように行動すれば良いか等、災害の直後とその後のことをもっと具体的に伝えてほしい ・教育環境は「安心・安全」であることがまずは基本だと考える。防災・防犯の取り組みを更に継続して頂きたいと思う</p>

7 学生の募集と受け入れ	<p>7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか</p> <p>7-25-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか</p> <p>7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか</p> <p>7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか</p> <p>7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか</p> <p>7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか</p>	4	<p>【7-25-1】 職業教育を実践する学校として入学前から仕事観・勤労観を持っていただくために、オープンキャンパス(体験入学)やプレカレッジにてお仕事体験を実施し、ひとりひとりの目的・目標を明確にできるように自己発見のサポートを行っている。入学案内やホームページ上でもめざす職業や学びの内容を明確化できている。</p> <p>【7-25-2】 高等学校内での進路ガイダンスや職業理解セミナー、進学サイトやホームページ、オープンキャンパス、MYスクール(プレカレッジ)にてキャリア形成支援と入学前教育を適切かつ効果的に行っている。また、福岡県専修学校各種学校協会の定めたルールに基づいた募集開始時期、募集内容を遵守している。</p> <p>【7-26-1】 入学募集要項に入学選考基準を明確化しており、適切に運用している。入学選考は学力審査ではなく、作文と面接による目的意識の確認。国の高大接続システム改革会議の報告に基づき、今後平成33年度以降の入試については、AO入試の在り方についても専門学校も何らかの対応の必要があると思われるので、今後の改革の動向を見据える必要がある。</p> <p>【7-26-2】 入学選考での実績を把握し、クラス運営の中に活かしている。</p> <p>【7-27-1】 授業や実習内容、その他の経費に対応した学納金になっている。</p> <p>【7-27-2】 入学辞退者の授業料等については、3月31日までに入学辞退の申し出があった場合は、入学金を除き学費等を全て返還している。しかし、4月1日以降は、最高裁の判例に基づき、海外研修積立金などの預り金以外は、返金できない。また、このことは、学生募集要項に於いて、「学費一覧」ページと「学費納入スケジュール」ページの2か所に明記している。</p>	<p>&lt;入学選考の種類&gt; AO入試 高等学校推薦 指定校推薦(指定校のみ実施) 一般入試(専願・併願) 社会人入試</p> <p>&lt;入学者選抜における配慮&gt; ・願書の記載事項、面接での質問等を適正に行うための研修 ・障害のある受験者、LGBT等に配慮した選考</p>	3.6	<p>・様々な立場の学生が目的を持って入学するために、多くの機会があるのは良いと思う</p> <p>・オープンキャンパス等も工夫されていると思う</p> <p>・項目としては問題なく網羅されている。引き続き当人の将来ビジョンまでしっかりと共有した活動を続けてほしい</p> <p>・オープンキャンパスがきっかけで入学先を決めた数人の学生から聞いている</p> <p>・動物看護師の希望者が将来的に減っていくのではと懸念する</p> <p>・サービス業の会社員の方向けに、年に数回平日に体験授業ができないか。社会人で入学した学生や同期のほとんどが体験授業が土日にしかなく参加できていなかった</p> <p>・学力試験を受けずに入学するのなら、もっと学力を向上させるための学校内での環境作りが必要</p> <p>・高校側から見ると、在校生があまりに早い段階で合格内定等を取付することは好ましいことではないので、今後ともご配慮をお願いしたいと思う</p>
8 財務	<p>8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか</p> <p>8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか</p> <p>8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか</p> <p>8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか</p> <p>8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか</p> <p>8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか</p>	4	<p>【8-28-1】 毎年5か年の事業計画を作成し、中長期の視点で5か年の収支予算を立てており、財務基盤は安定している。</p> <p>【8-28-2】 5か年計画及び単年度事業計画に基づいて、滋慶学園本部、法人本部、学校がそれぞれの立場から財務分析を行っている。</p> <p>【8-29-1】 5か年の予算は、中長期を見越した新学科構想、施設・設備構想、人員構想等を考慮して支出を計画し、将来の学生数等を鑑みながら収入を予測し、収支計画を作成する。</p> <p>【8-29-2】 予算の執行管理は計画的に行っている。4期に分け見直しを行っており、予算と執行金額との乖離がある場合は修正予算を組む。</p> <p>【8-30-1】 学園本部の機能として二重チェックの体制となっており、学校の財務体制をしっかりと管理し、健全な学校運営ができています。また収入と支出のバランスは、理事会で毎年確認されている。さらに、監査は私立学校法上義務付けられている監事監査のほか、公認会計士による監査も受けている。</p> <p>【8-31-1】 私立学校法に基づいて、ホームページで財務情報を公開している。現在は、平成29年度財務情報を記載しているが、決算理事会終了後の6月末を目途に、平成30年度財務情報に更新予定。</p>	<p>当法人の財務情報公開に関しては、下記の通りとなっている。</p> <p>&lt;組織体制&gt; 1. 法人統括責任者 2. 学校統括責任者 3. 学校事務担当者</p> <p>&lt;公開資料&gt; 1. 財産目録 2. 貸借対照表 3. 収支計算書 4. 事業報告書 5. 監査報告書</p> <p>&lt;閲覧場所&gt; 法人本部</p>	3.9	<p>・適切だと思う</p> <p>・情報公開は信頼獲得の基本だと思う。今後も継続されることを期待する</p> <p>・WEBで公開されている財務情報も問題ない</p> <p>・信頼できると思う</p>

<p>9 法令等の遵守</p>	<p>9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか</p> <p>9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか</p> <p>9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか</p> <p>9-34-2 自己評価結果を公表しているか</p> <p>9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか</p> <p>9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか</p> <p>9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか</p>	<p>4</p>	<p>【9-32-1】 法令遵守については、滋慶学園グループ全体の方針として掲げ、各校の教職員全員でその方針を理解し、実行に努めている。法人理事会のもとに、コンプライアンス委員会で学校運営が適切かどうかを判断し、また学校運営が適切かどうかは各組織体制でチェックできるようにしている。</p> <p>【9-33-1】 学校が保有する個人情報(資料請求者、在校生、卒業生、教職員、講師、実習先など)は個人情報保護法に基づいて、厳格に管理・保護されている。</p> <p>【9-34-1】 自己評価は毎年中間評価と年度末の自己評価を実施する体制を整備し、評価を行っている。</p> <p>【9-34-2】 自己評価結果は毎年ホームページにて公表している。</p> <p>【9-34-3】 年に1回学校関係者評価委員会を開催し、評価・ご意見をいただいている。</p> <p>【9-34-4】 学校関係者評価結果は毎年ホームページにて公表している。</p> <p>【9-35-1】 教育に関する情報公開はホームページやパンフレット、SNSや学校新聞などに随時掲載している。</p>	<p>&lt;法令順守に係る組織体制・システム&gt;</p> <p>◎組織体制 ①財務情報公開体制(学校法人) ②個人情報管理体制(滋慶学園グループ) ③広告倫理委員会(滋慶学園グループ) ④進路変更委員会(滋慶学園グループ)</p> <p>◎システム(管理システム) ①個人情報管理システム(滋慶学園グループ) ②建物安全管理システム(滋慶学園グループ) ③防災管理システム(滋慶学園グループ) ④部品購入棚卸システム(滋慶学園グループ) ⑤コンピュータ管理システム(COMグループ)</p> <p>学内にコンプライアンス委員会を設置し、厳格なコンプライアンスの遵守に努めている。委員長は、統括責任者である法人の常務理事が就任し、委員は学校の現場責任者である事務局長と実務責任者の教務部長で構成される。主な任務は、行動規範・コンプライアンス規程の作成、コンプライアンスに関する教育・研修の実施、コンプライアンス抵触事案への対応及び再発防止対策の検討・実施、コンプライアンスの周知徹底のための啓発活動の推進である。監事による毎年の監査に際して、業務監査の対象としてコンプライアンスの実施状況についても監査してもらっている</p>	<p>4.0</p>	<p>・適切だと思う ・信頼している ・項目を見る限り問題ない ・法令遵守だけではなく、マナーもきちんと守る学校の姿勢は学生の育成にプラスに働くと思う ・学校関係者評価委員会での意見を前向きに取り組んで頂いている。学生にもその思いが伝わると結果も出やすいのではないかなと思う ・学校関係者評価委員に専攻の違う保護者を2名程度にすればより多くの意見が聞かれると思う(学生・保護者のニーズを知る)</p>
<p>10 社会貢献</p>	<p>10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</p> <p>10-36-2 国際交流に取り組んでいるか</p> <p>10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか</p>	<p>3</p>	<p>【10-36-1】 学内動物のふれあいイベントや、動物に関する啓発活動などの社会貢献・地域貢献には積極的に取り組んでいる。ただしクラブ活動に所属している一部の学生に限られているのが現状である。</p> <p>【10-36-2】 留学生を対象とした学校見学会などを実施したが、アジアの人材育成を担う学校としてもっと国際交流に力をいれるべきと考えている。</p> <p>【10-37-1】 動物愛護や環境保全に関するボランティア活動を行った。また企業プロジェクトとして熊本市動植物園の復興支援を行った。地域清掃など自主的なボランティア活動支援体制は考案中である。</p>	<p>&lt;平成30年度の取り組み&gt;</p> <p>①アママ生息地調査・ヒナモロコ域外保全活動 ②CAPP活動(動物と人とのふれあい活動) ③志免中央小学校 1年生いのちの授業 ④熊本市動植物園 復興プロジェクト ⑤「わん！ダフルフェスタ」(福岡市・動物愛護団体・企業と連携) ⑥「アニマルキッズスクール」地域の子どもたちに動物のふれあいを通して生き物の魅力や命の大切さを伝える。全6回 ⑦「ゆずフェスティバル」福岡県社会教育センターで動物のふれあいイベント ⑧東公園 移動動物園・ドッグラン ⑨近隣の保育園や放課後デイサービスの子どもの見学会</p>	<p>3.3</p>	<p>・良いと思う ・地域の行事に積極的に参加されていると思う。社会教育センターでも活躍している姿を見ることができた ・地域社会も学校運営に関する重要なステークホルダなので、地域に親しまれる学校を目指してほしい ・定期的に入れ替わる学生が地域と連携することは難しいと思うので、学校主導で続けてほしい ・一部の学生に限られているのは大人になっても同じかもしれないが、1人でも自ら参加するような内容にして頂き、協力する心を育てて頂きたい ・クラブ活動に所属している学生以外の中に、所属したくない学生やバイトをしなければならなくクラブに所属できない学生がいる。後者はイベント当日だけでも役割を決め、参加できないか ・真の国際化や多様性の需要についての取り組みを今後も着実に進めて頂ければと思う ・地域の行事等を通して交流も深まり、信頼もできているので今後も続けてほしい</p>